

化学部

化学部の主な業務は、一般廃棄物、産業廃棄物、汚染土壌等に関する試験検査及び調査研究である。平成29年度に実施した試験検査等は335検体、計4,292項目で、その内訳は表1のとおりである。

産業廃棄物最終処分場等の浸透水、周辺井戸水、環境水及び廃棄物等について、328検体、計4,073項目の検査等を実施した。併せて精度管理も行った。

1 試験検査実施状況

廃棄物の処理及び清掃に関する法律、栃木県廃棄物処理に関する指導要綱等に基づく検査等を実施した。

1.1 一般廃棄物関係

一般廃棄物最終処分場の浸出水、周辺井戸水等について、7検体、計219項目の検査を実施した。

1.2 産業廃棄物関係

2 調査研究

2.1 堆肥化施設の臭気の発生抑制に関する調査

廃棄物処理施設の堆肥化施設について、発酵の過程で生じる臭気の発生を抑制する要因や条件を調査するため、平成27年度から4ヵ年計画で行っている。平成29年度に実施した調査について、「V 研究ノート」に記載した。

表1 平成29年度試験検査実施状況

区 分	行政検査		調査研究		精度管理		合計	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
一般廃棄物関係								
処分場浸出水、排水	2	74					2	74
処分場周辺地下水、井水 廃棄物	5	145					5	145
産業廃棄物関係								
処分場浸透水、排水	41	376					41	376
処分場周辺地下水、井水	74	1,630			56	121	130	1,751
河川水、環境水	35	794					35	794
廃棄物等			117	1,102	5	50	122	1,152
事故関係								
土砂関係								
放射能関係								
廃液排出								
合計	157	3,019	117	1,102	61	171	335	4,292